

2017年7月11日

日本メジフィジックス株式会社

新しい心筋血流イメージング検査診断補助剤を導入へ

～GE Healthcare グループ (Instrumentarium Holdings, Inc.) から国内独占的商業化権を獲得～

日本メジフィジックス株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:下田尚志、以下「当社」)は、GE Healthcare グループである Instrumentarium Holdings, Inc. (本社:米国)と核医学心筋血流イメージング検査で使用される診断補助剤 Regadenoson (以下、レガデノソン)の国内での独占的商業化を取得するライセンス契約を締結しました。

レガデノソンは、アデノシン A2A 受容体のアゴニストで冠動脈に選択的な血管拡張薬として 2008 年 4 月米国食品医薬品局で認可され、現在米国をはじめ英国・ドイツなど世界各国で心疾患の主要因である冠動脈疾患の診断に用いられる心筋血流イメージング検査の診断補助剤として使用されています。海外では、一定量を短時間で投与することができ、また、従来の診断補助剤では禁忌とされていた喘息・慢性閉塞性肺疾患などの患者様においても投与可能なため、広く使用されております。

また、レガデノソンは、心疾患の診断目的で実施されている心筋血流イメージング検査をより短時間で実施できるだけでなく、より幅広い患者様に薬剤負荷心筋血流イメージング検査の実施が可能であると報告されていることから心臓核医学の医療への貢献が一層期待できます。

なお、GE Healthcare の Core Imaging 事業(造影剤・放射性薬剤、PET 剤合成装置等) General Manager である Emmanuel Ligner 氏は今回の契約締結について、「GE Healthcare は、欧州数か国においてレガデノソンの豊富な供給実績から得た経験や知識を最大限に発揮し、NMP との緊密な協力体制によりレガデノソンを日本の医療現場にお届けしたい。」と述べています。

日本メジフィジックス株式会社について

日本メジフィジックス(<http://www.nmp.co.jp>)は、住友化学株式会社と GE ヘルスケアグループの合弁企業で、日本国内において核医学分野のリーディングカンパニーです。当社は、今後も腫瘍、中枢神経、循環器などの主要疾患領域において、高品質な製剤の開発、製造、供給を通じて、今後も医療のさらなる発展のために貢献を続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先: 日本メジフィジックス株式会社 総務部(広報担当) 電話 06-4300-5541
本社 電話 03-5634-7006